

S U P E R  
FORMULA

# STAGE

superformula.net/sf2

2018 Vol.03

## INDEX

- 2018 出場ドライバー紹介 ②③
- 今大会の見どころ ②
- 松田次生が語るコースガイド ③
- SHORT INTERVIEW ④
- チーム探訪 ここがウチの自慢です! ④
- インフォメーション ④

Published JAPAN RACE PROMOTION, INC.  
2-3-25 Kudan-minami Chiyoda-ku Tokyo

本紙への広告掲載のお問い合わせは——  
株式会社 日本レースプロモーション  
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25  
☎03-3237-0131  
https://superformula.net/sf2

JRP  
Japan Race Promotion Inc.

INTERVIEW NO.3

KONDO RACING ドライバー

## 山下健太

Kenta YAMASHITA

近所の自動車販売店で行われた『星野一義トークショー』。F2時代の星野が見たくて、小学生の山下将志は父にせがんで連れて行ってもらった。7歳上の兄にはレース観戦に連れて行ってもらった。兄の友人たちが乗っているチューニングカーは憧れの的。20代前半の頃からはF1にも熱狂した。その後、就職し、結婚した将志には長男が生まれる。“健やかにたくましく育てて欲しい”。その願いが『健太』という名には込められている。

健太が生まれた頃、将志は会社を辞め、自分で事業を立ち上げる。仕事を軌道に乗せるため毎晩遅くまで働き、家に帰ると健太はいつも夢の中。息子の成長をなかなか見ることができず、言葉をかかずことも余りなかった。だが健太が4歳の時、家族旅行で行った日光で2人の物語は動き始める。観光を終え、ホテルに戻る途中に『グランディソール』という看板が立っていた。そこに、楽しそうにカートをする子供の絵が描かれているのを見て、健太は「行ってみたい」と言いだした。

「こんな小さな子が乗れるわけはない。とりあえず見るだけ」と立ち寄った。健太は乗車するための身長をクリア。スタッフが牽引フックを持つキッズカートに乗った。1回の乗車は数周。それが終わると、「もう1回」、「もう1回」とせがみ、5〜6セットもカートに乗り続けた。家に帰っても、「また乗りたい」と健太は言う。そこで将志は近所のカートショップを探し出し、中古のカートを見つけて購入。この時、店員の営業に“乗せられ”て、自分のカートも買ってしまった。先に本格的にカートを始めたのは将志。健太は父の練習やレースの合間に、小さなカートに乗り始めた。

そして小学生頃になると、今度は健太が本格的に走り始め、将志は次第に息子のレースに対して

熱くなって行った。健太は、まだ“楽しい”というだけでカートに乗っていたが、将志は健太がレースに負けると怒った。勝負事だから真剣に向き合って欲しかった。カートが2人の共通の話題だったのに、お互いに口を利かなかった時期もある。行き場のない健太は、家出を企てたこともあった。こうした状況のある日、将志は言った。「カートを止めよう」自分の頭をクールダウンしなければ。そう思ったからだ。一方、健太は乗り続けたかった。だが、「乗りたい」と言い出すことができないまま、1年ほどが過ぎて行った。

「どうするんだ、やるのか? やらないのか?」先に口火を切ったのは将志。ここで「やる」と答えた健太は、父とともに今度こそ真剣にカートに向き合い始める。特に、中学1年生の時、KRPジュニアの全国シリーズでタイトルを獲得してからは、その道にまっしぐら。レーシングスクールの情報も知り、「プロになる道もある」と考え始めた。本格的にカートをやれば毎年数百万の資金がかかる。そこで将志は計画を立てた。限定Aライセンスを取ることを目指し、全日本カートは1年限り。限定Aライセンスを取ったらジュニア・フォーミュラで4輪を経験させ、FTRS（フォーミュラトヨタ・レーシングスクール）へ。「ここまでは自分でも何とかしてやれる。ダメならレースは趣味。趣味なら自分で稼げ」と健太にも伝えた。

健太は、そんな父の思いを受けてスーパーFJで全戦優勝。FTRSにも合格し、FCJ（フォーミュラチャレンジ・ジャパン）でタイトルを獲得と順調にF3へと進んだ。そのデビュー戦でPPを獲得。スタートでミスしてポジションを下げたが、そこから前のクルマを全部抜き去って優勝を果たす。「あの時が、天狗の頂点でした」という健太。スーパーFJで全勝した時も心の中で「簡単だ」と思ったが、F3でも「イケるんじゃないの?」と感じた。だが、そこからもがくことになる。ベストの走りをしてトップになれない。「開幕が最高で、そこからどんどん下がって行って落ち込みました」。この年のチャンピオンは、松下信治。「翌年こそ」の気持ちは強かった。

そこでチームメイトになったのが、マカオGPで表彰台上がったニック・キャシディ。「高速コーナーで小技を使っていたり、データロガーを見てすごいな」と思った健太だが、一方では「今年、結果を出さなきゃマズい」という気持ちも持っていた。シーズンを通じて、戦いはほぼイーブン。だが最終戦でキャシディに敗北し、タイトルを奪われてしまう。「最悪でした。もうレース人生は『終わった』と思いましたね」。しかし幸いにも、その何時間かのち、関係者に「来年も頑張ろう」と言われ、3年目に向けて気持ちを新たにした。

その3年目も決して楽な戦いではなかった。当時、

ユーロF3シリーズで最強とも言われていたVWエンジンが日本に上陸。シーズン前から一時、「もうダメだ」という気持ちにもなった。VWエンジンを使うヤン・マーデンボローとのタイトル争いは一進一退。最終レースを迎えた時には、わずか1点だけ健太がリード。「もうやれるだけやるしかない。ダメだったら仕方ない」と開き直った健太は、PPから苦手なスタートを決め、念願のタイトルを獲得した。

この結果を手に、昨年からはついに国内トップフォーミュラにステップアップ。「世界的に有名なアンドレ・ロッター選手や小林可夢偉選手と走れたらいいなと思っていました」というだけに、デビューが決まった時は嬉しかった。その初年度には、ルーキーながら第4戦もでぎでPPを獲得。走りを見せ、「やって行ける」という手応えも掴んだ。「とにかくSFで勝ちたいし、できるなら20年ぐらい乗り続けたい」という。その健太を今でも陰ながら叱咤激励しているのは将志。F3時代からは現場に足を運ぶことも余りなくなったが、ライブタイミングでセッションを欠かさずチェック。セッションが終わると必ず健太にメールする。健太とは、顔を合わせればレースの話ばかり。日光で出会ったジュニアカートの時から、父と息子はレースを通じて、親子の絆を紡いでいる。

\*インタビュー全編は後日公式ホームページに掲載いたします。

Series Partner **HONDA TOYOTA**

Series Supporter **YOKOHAMA**

Promotion Partner **HITACHI**  
Inspire the Next  
日立オートモティブシステムズ

**SONY**  
RX0

**NIKKEI-ICHI**  
人気酒造

Broadcasting Partner

**BSフジ**

**J SPORTS**

# 2018 ENTRY LIST

全日本スーパーフォーミュラ選手権 エントリーリスト

Twitter Facebook Instagram ★は今季スーパーフォーミュラ初参戦

## JMS P.MU/CERUMO・INGING

ジェームス ピーエムコーセルモインギング

### 1 石浦宏明

Hiroaki ISHIURA  
1981年4月23日生/東京都



JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14

RANKING 4 POINTS 5

昨シーズンのチャンピオン。2年ぶり2度目の王者となった。昨年の第3戦では現役最年長の36歳で優勝を達成と、円熟の域に達している。



<https://ameblo.jp/ishiura/>

### 2 国本雄資

Yuji KUNIMOTO  
1990年9月12日生/神奈川県



JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14

RANKING - POINTS 0

2016年に初優勝を含む2勝を挙げて王座に就いた現役では最年少のチャンピオン。昨年は第3戦富士で初のポールポジションを獲得した。



<http://yujikunimoto.com>

## KONDO RACING

コンドーレーシング

### 3 ニック・キャシディ

Nick CASSIDY  
1994年8月19日生/ニュージーランド



ORIENTALBIO KONDO SF14

RANKING 7 POINTS 2

昨年スーパーフォーミュラにデビューし、第2戦岡山のレース1で3位入賞、第6戦SUGOではPP獲得と活躍。自身の初優勝を挙げられるか。



<https://twitter.com/nickcassidy>

### 4 山下健太

Kenta YAMASHITA  
1995年8月3日生/千葉県



ORIENTALBIO KONDO SF14

RANKING - POINTS 0

2016年に全日本F3チャンピオンとなり、昨年スーパーフォーミュラに進級。3度の入賞を果たし、第4戦もてぎではポールポジションを獲得した。



<http://kentayamashita.jp>

## DOCOMO TEAM DANDELION RACING

ドコモチームダンディライアンレーシング

### 5 野尻智紀

Tomoki NOJIRI  
1989年9月15日生/茨城県



DOCOMO DANDELION M55 SF14

RANKING 3 POINTS 6

2014年にデビュー。その年のSUGO大会で初優勝を果たし、一躍注目の存在に。昨年の第5戦オートポリスではポールポジション獲得と速さは一級だ。



[https://twitter.com/tomoki\\_nojiri](https://twitter.com/tomoki_nojiri)

### 6 松下信治

Nobuharu MATSUSHITA  
1993年10月13日生/埼玉県



DOCOMO DANDELION M6Y SF14

RANKING - POINTS 0

2015年からF1直下のGP2（17年にF2と改称）で活動。今シーズン、スーパーフォーミュラにデビューした期待の若手で、その実力が注目される。



<https://www.nobuharu.com>

## UOMO SUNOCO TEAM LEMANS

ウオモスノコチームルマン

### 7 トム・ディルマン

Tom DILLMANN  
1989年4月6日生/フランス



UOMO SUNOCO SF14

RANKING - POINTS -

レギュラードライバーのピエトロ・フィッティパルディがインディカーシリーズに出場のため、前戦に続き出場。今季は世界耐久選手権とフォーミュラEに参戦。



<https://www.facebook.com/tomdillmannofficial/>

### 8 大嶋和也

Kazuya OSHIMA  
1987年4月30日生/群馬県



UOMO SUNOCO SF14

RANKING - POINTS 0

昨年、古巣となるチームルマンから5年ぶりにスーパーフォーミュラに復帰。第5戦オートポリスで3位入賞と、名門チーム復活に全力で挑む。



[https://twitter.com/oshima\\_kazuya](https://twitter.com/oshima_kazuya)

## TEAM MUGEN

チームムゲン

### 15 ダニエル・ティクトゥム

Daniel Ticktum  
1999年6月8日生/イギリス



TEAM MUGEN SF14

RANKING - POINTS -

レッドブル・ジュニアチームに所属。昨年のマカオGP覇者で今季はヨーロッパF3に参戦。F2に出場するレギュラードライバー福住仁頼に代わり初出場。



<https://danticktum.com/>

## ここに注目! 第3戦 スポーツランドSUGOの見どころ 前戦からの持ち越しタイヤの使い方に注目

風雨と雲による視界不良で中止となった、第2戦オートポリス。そこからわずか2週間のインターバルを経て、第3戦がスポーツランドSUGOで行われる。森に囲まれ、自然の地形を活かして作られたSUGOは、観客スタンドからコースも近く、スーパーフォーミュラの迫力がより味わえる。

そのSUGO戦は過去、最終戦前の秋口に行われることが多かったが、今年は5月の開催。例年とはコンディションが違って来るものと思われる。走り梅雨のような天候になる可能性も捨て切れないが、晴れば初夏のさわやかな空気の中で、最高のレースが見られるはずだ。

土曜日の予選は、いつもと同じノックアウト方式。Q1はミディアムタイヤが義務付け。Q2から制限はないが、ソフトタイヤでの争いとなるだ

ろう。オートポリスでも、ミディアムに合ったクルマ&ドライバー、ソフトに合ったクルマ&ドライバーがあるように見受けられたが、全く性格の違うSUGOのコースでは誰が速さを見せるのか。また、SUGOはコース全長が短いため、アタック時のスペースを確保することが他のサーキット以上に重要となる。19台が走るQ1も去ることながら、14台が走るQ2も、どのタイミングで誰がコースに入るのかは気になるポイント。大抵Q1後半では多くのクルマが一斉に動き出すため、アウトラップの場所取りから戦いが始まっている。そして、Q2以降はソフトタイヤで何周目にアタックに入るかも見どころ。前戦でもPPの平川亮やQ2トップの小林可夢偉は、計測2周目のアタック。予選2、3位の野尻智紀や松下信治などは

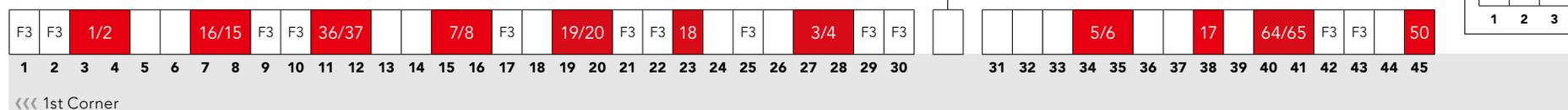
計測1周目にアタックした。エスケープゾーンが狭く、赤旗も頻発するSUGOでは、セッションが中断することも頭に入れながらアタックする難しさもあり、各ドライバーのコースインやアタックのタイミングなど、多くの点が注目される。

決勝レースでポイントとなってくるのは、ドライバーの場合、やはりタイヤの使い方。特にソフトタイヤを決勝でどれだけ長くもたせられるかが最大のカギとなるだろう。コースガイドでも触れられているが、SUGOは「比較的タイヤに優しいコース」だからだ。そのため、決勝を想定して、持ち越しタイヤとしてソフトを2セット持ってくるチームもあるかも知れない。前戦の決勝が中止となり、全ドライバーがほとんど使用していない、あるいは全く新品のソフトタイヤを残しているため、そんな予想も可能だ。

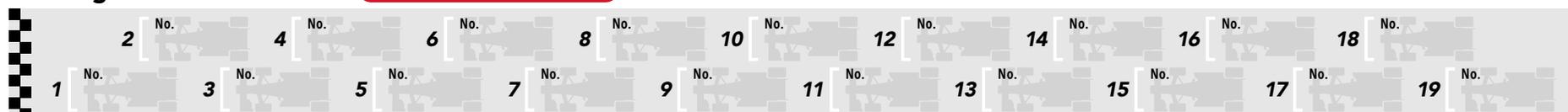
昨年のSUGOでは、タイヤが2スベックではなく、ミディアムのみだった。その中で、フェリッ

クス・ローゼンクヴィストや大嶋和也、山本尚貴、小林可夢偉などが無給油作戦を採用。上手いリフト&コースト（アクセルを緩めて、惰性で走る）を見せて、ローゼンクヴィストや可夢偉はポイントを獲得した。しかし、今年は決勝中に2スベックのタイヤを使用しなければならない。つまり、ドライの場合には、誰もが必ず1回はピットインしなければならない。それを考えると、スタート時に誰がミディアムを選び、ソフトを選ぶのかも注目点。中には、ゴールまでの燃料を逆算し、最少の周回数でピットインし、ミディアムからソフトに替えて走り切るドライバーも出てくるだろう。逆にソフトで出来る限り引っ張ってから、最後数周だけミディアムという選手も出てくる可能性はある。SUGOはオーバーテイクが容易ではないだけに、各チームの作戦面にもバラエティーが出てくるはず。そうした点も気にしながら、レースを堪能していただきたい。

### Team Pit — ピット割り



### Starting Grid — スタートグリッド 自分でGrid表を完成させよう!



**16** 山本尚貴  
Naoki YAMAMOTO  
1988年7月11日生/栃木県



TEAM MUGEN SF14

RANKING **1** POINTS **11**



2013年のチャンピオン。ホンダ勢の中心的存在で、昨年こそ優勝もポールポジションもなかったが、今季は開幕戦をポール・トゥ・ウィンで制した。

<http://www.naoki-yamamoto.com>

**REAL RACING**  
リアルレーシング

**17** 塚越広大  
Koudai TSUKAKOSHI  
1986年11月20日生/栃木県



REAL SF14

RANKING **6** POINTS **3**



2012年にチャンピオンを争い、惜しくも2位に。翌13年から現チームに移り、今年で6年目のシーズン。チームに初優勝をもたらすことができるか。

<http://www.tsukakoshikoudai.net/>

**carrozzeria Team KCMG**  
カロツェリアチーム ケーシーエムジー

**18** 小林可夢偉  
Kamui KOBAYASHI  
1986年9月13日生/兵庫県



KCMG Elyse SF14

RANKING **—** POINTS **0**



F1で活躍後、2015年にスーパーフォーミュラへ。昨年は第4戦のもてぎで優勝目前の2位を獲得と、今年こそ初優勝の期待がかかる。

<http://www.kamui-kobayashi.com/>

**ITOCHU ENEX TEAM IMPUL**  
イトウチュウエネクス チーム インパル

**19** 関口雄飛  
Yuhi SEKIGUCHI  
1987年12月29日生/東京都



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING **2** POINTS **8**



2016年にスーパーフォーミュラにデビューするなり、その年に2勝し、昨年も2勝とこの2年間は最大の勝利を誇る。目指すは初のチャンピオン獲得だ。

<https://twitter.com/yuhisekiguchi>

**20** 平川 亮  
Ryo HIRAKAWA  
1994年3月7日生/広島県



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING **9** POINTS **1**



2013年にスーパーフォーミュラにデビュー。16、17年はスポーツカーやGTレースで活躍し、昨年スーパーGTで王者に。今年3年ぶりにスーパーフォーミュラに復帰。

<https://twitter.com/ryohirakawa>



▶ コース幅いっぱいまで上手く使うコーナリングが多い

SUGOは、SFのスピードで走るとちょっと小さめに感じるコースですが、コーナーとしては前半の低速区間と後半の高速区間に分けられ、そのバランスをどう取るのが大事です。路面はそれほど攻撃性がなく、どちらかというとサラサラした感じ。タイヤには優しいと思います。

1コーナーは少し上りながらのブレーキングで、平坦な所よりもかなり突っ込めます。そこで姿勢を乱さず、リヤを出さずにアプローチすると1〜2コーナーは上手く走れます。ラインはアウト・イン・アウトですね。最終コーナーからタービュランス（前走車が起こす乱気流）を少し避けながら上手く前のマシンに付き、ストレートで横に並べれば追い抜きのポイントにもなります。ただ、ストレートから1コーナーイン側のラインはダスティ。ポジションを守ろうと、あまりインに寄るとアウトから抜かれることもあり得ます。防御には真ん中ぐらいのラインでいいかも知れません。

2コーナーは結構回り込んでいて、そこでアンダーステアが強いとアクセルを抜いて車速が落ちてしまうので難しいですね。2コーナーでアウト

にはらみすぎると、3コーナーでアクセルを踏める量が少なくなるので、2コーナーでは3コーナーへのアプローチを考えながらライン取りし、3コーナーをなるべく高いスピードで走れるようにします。3コーナーは中速コーナーに近いのですが、「イケそうでイケない」。「フロントが入ったから上手く曲がれる」と思っても、急にコース幅が足りなくなって、芝に落ちてコースアウトということも結構ある。バランスを取るのが難しい。

ヘアピンコーナーはとにかく小さく回る。アウトからブレーキングで入りますが、早めにクリップに付くイメージです。続くS字はシケイン状で、2つ目の脱出のために、1つ目を使う感じ。1つ目で減速して、いかに2つ目で早く立ち上がれるラインを見つけるかが重要です。2つ目で脱出する時にみんなギリギリを狙いますが、その時に幅が足りなくなって、はみ出ることもありますね。

続くハイポイントは、レインボーまでの直線が短い分、どちらかというとブレーキで結構突っ込むコーナー。アウト側ギリギリまで攻めていくのですが、アンダーが出て芝に乗ってスピンする恐

**VANTELIN TEAM TOM'S**  
バンデリン チーム トムス

**36** 中嶋一貴  
Kazuki NAKAJIMA  
1985年1月11日生/愛知県



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING **8** POINTS **1**



2012、14年のチャンピオン。父はナカジマレーシングの中嶋悟監督で、親子共々F1で活躍した実績をもつ。自身3度目のチャンピオン獲得を目指す。

<http://www.kazuki-nakajima.com/>

**37** ジェームス・ロシター  
James ROSSITER  
1983年8月25日生/イギリス



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING **—** POINTS **0**



今季2年ぶりにスーパーフォーミュラへ復帰。2013年にデビューした時と同じ強豪チームからの参戦で、タイトル争いに加わるか注目される。

<http://twitter.com/rossiterracing>

**B-Max Racing team**  
ビーマックス・レーシング・チーム

**50** 千代勝正  
Katsumasa CHIYO  
1986年12月9日生/東京都



B-Max Racing SF14

RANKING **—** POINTS **0**



今年スーパーフォーミュラにデビュー。これまではGTレースで主に活躍し、プランパン耐久シリーズでは日本人初のシリーズ王者に輝いている。

<http://www.chiyo-katsumasa.com/>

**TCS NAKAJIMA RACING**  
ティーシーエス・ナカジマレーシング

**64** ナレイン・カーティケヤン  
Narain KARTHIKEYAN  
1977年1月14日生/インド



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING **—** POINTS **0**



2001年にフォーミュラ・ニッポンに参戦。その後F1で戦い、14年から再びスーパーフォーミュラに。今年41歳の現役最年長ドライバーである。

<https://twitter.com/narainracing>

**65** 伊沢拓也  
Takuya IZAWA  
1984年6月1日生/東京都



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING **5** POINTS **4**



2012年にタイトル争いを演じ、ランキング3位。14年にはGP2に参戦した。15年から再びスーパーフォーミュラにフル参戦し、今年チームを移籍した。

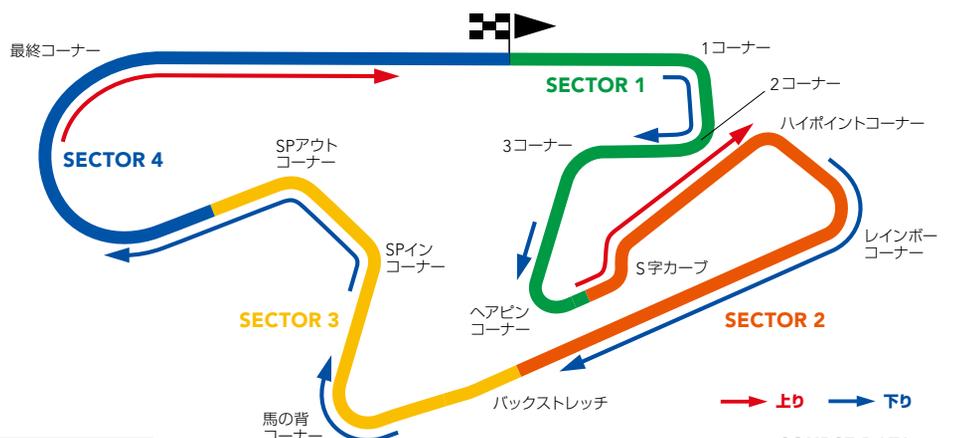
<http://www.takuya-izawa.com/>

れがあります。レインボーはバックストレッチをいかに伸ばすか考えるので、立ち上がりを意識して走るコーナーですね。下りのバックストレッチ先にある馬の背は、結構カント（カーブの外側が内側より高くなっている傾斜）がついていて、そこから上って行くので、コーナリング中はアンダーが出にくい。だから、それほどボトムスピードを落とさなくても曲がれるコーナーのひとつです。

その先のSPはいかに高いスピードで抜けて行くか。でも、スピードを上げて行こうとすると、コース幅が足りなくなります。それで、はみ出して戻って来られなくて、クラッシュという場面も目にします。そこで、いかにニュートラルで車速を上げて行けるクルマを作れるかがポイント。イン側の縁石がクリップに付いたぐらいから全開に出来るのが理想です。そこからは踏み切りで最

終コーナーに入りますが、ギャップがあるので、そこを上手く避けて行くとボトムスピードが上がります。去年のP.ガスリー選手は走り慣れていない分、ギャップに乗った途端にアクセルを抜いたりしていましたが、それが上りでのスピードに影響します。ですから、ギャップを避けるか、乗っても気にせず踏んで行くか度胸一発です。

今回、注目しているのは、SUGOで連覇している関口雄飛選手。SUGOが得意なので、ソフトでどれだけ速いか。また、小林可夢偉選手のオートポリスでの走りを見てみると、ソフトに合っていると思うので注目です。そして去年PPのニック・カシディ選手も同様です。今年はホンダエンジンの調子が良いので、前回速かった松下信治選手やポイントリーダーの山本尚貴選手など、ホンダ勢がどんな速さを見せるのかも楽しみです。



過去3年の結果 (優勝者 | PP)

2017	関口雄飛 (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14)	N.カシディ (FUJII-raffinee KONDO SF14)	2016	関口雄飛 (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14)	関口雄飛 (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14)	2015	A.ロッテラー (PETRONAS TOM'S SF14)	A.ロッテラー (PETRONAS TOM'S SF14)
------	---------------------------------------	---------------------------------------	------	---------------------------------------	---------------------------------------	------	----------------------------------	----------------------------------

COURSE DATA  
全長: 3.704km

コースレコード: 1'04.910 N.カシディ (FUJII×raffinee KONDO SF14) 2017.9.23

## 平川 亮 (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL)

### ガチのレースがすごく楽しい

過去2シーズンはWEC(世界耐久選手権)に参戦していたので、スーパーフォーミュラへの参戦が難しい状況でした。3年ぶりに復帰が決まり、テストで走って改めて気が付いたのですが、スーパーフォーミュラは乗っていてすごくおもしろい。クルマが軽くてスピードも速い。今シーズンはSUPER GTとのダブル参戦ですが、向こうは結果次第でウェイトが積まれるのに対し、スーパーフォーミュラは、ドライバー、つまり自分自身のウデやチームとしてのスキルなど、頑張ったことがそのままストレートに結果が出るガチレース。それがすごく楽しいと感じています。

全車同じ車両を使い、タイヤもワンメイク。エ

ンジンメーカーが2社あるだけなので、結果としてラップタイムの差が少ない。だからドライビングのちょっとしたミスやクルマのセットアップの違いなど、そういう細かなことで順位を大きく落としてしまう。逆にすべて決まればいい位置に来ることができる。それをモロに感じるレースです。

### 監督が僕の走りを後押ししてくれる

チームインパルから参戦することになりましたが、星野(一義)監督がすごくイケイケで、いつも「行け！」と僕の走りを後押ししてくれます。テストでクラッシュしたときも「気にするな」と言ってもらいました。最初、結構怖いんだろうなというイメージを抱いていたのですが、実際はすごく冗談なども言ってくれますし……。シーズン

中、もしかしらだこかでプチ切られるようなことがあるかもしれませんが、それは僕が成長することを一番考えてのことだと思っています。すごく頼りがいのある人です。

チームメイトの関口(雄飛)選手は優勝経験者ですが、一番のライバルだと思っています。チーム内での情報共有はあると思いますが、一旦クルマがピットから出て行けば、コース上ではライバルなので。メリハリをつけて、チーム全体の底上げをすることができればいいなと思っています。

### まずは優勝。それが第一目標

スーパーフォーミュラは、開催サーキットやその時のコンディションによって上位争いする人が違ってきますよね? その都度クルマが速かったり遅かったりと、毎回のように結構違いが現れると思うんです。もちろん、ドライビングでのミスを避け、コンディションに合わせてクルマも上手くアジャストしないとイケない。常に気を張ってなければならぬのが、このレースの特徴じゃ



ないでしょうか。お客さんにはその様子をしっかりと楽しんでほしいのですが、ドライバーとしてはそれがシビアな順位争いになっていると思います。常に臨機応変に戦うことが難しさでもありますが、エンジニアとのコミュニケーションを活かし、うまく対処したいと思っています。

僕自身まだこのカテゴリでの優勝がないので、まずは勝たないと。それが第一目標です。最終的には、シーズン中盤から後半にかけてチャンピオン争いにしっかりと絡んでいけたらと思います。



### 観戦中の情報収集は

#### 公式アプリ

レースの状況を把握するなら……  
順位、ラップタイム、セクタータイム、位置情報などがひと目でわかる無料アプリ。場内放送も聞けて非常に便利!

<http://superformula.racelive.jp/>



#### オフィシャルサイト

リザルトやコメントを見るなら……  
走行結果やインタビュー、その他リリースなど。随時最新情報を掲載!  
<https://superformula.net/sf2>

#### リアルタイムな情報収集には……

##### Twitter

SUPER FORMULA公式アカウント  
@super\_formula

TOYOTA GAZOO Racing  
@toyota\_gr

HondaモータースポーツLive  
@hondajp\_live

公式ハッシュタグは「#sfformula」

記事やダイジェスト動画は……

##### Facebook

スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook  
<https://www.facebook.com/superformula.official>

##### YouTube

YouTube公式チャンネル  
<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>



お求めは  
場内売店か  
公式サイトへ!

#### SUPER FORMULA OFFICIAL SHOP

### 全日本スーパーフォーミュラ選手権 2017総集編DVD発売中!

世界が注目するドライバー達が集結。国内トップフォーミュラ激動の1年間を振り返る決定版! 2017年シリーズ全7戦のダイジェスト(レース中継+オンボード映像+インタビュー)を収録。

価格:5,400円(税込)

#### 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 公式プログラム販売中

お客様入場ゲート、パドック券販売 仮設テント(Cパドックイベント広場内)、グランドスタンドSUGO売店(グランドスタンド放送棟1F)で販売しています。

価格:1,000円(税込)



## チーム探訪 ここがうちの自慢です!

### その3 | UOMO SUNOCO TEAM LEMANS

今シーズンも、熾烈な戦いが予想されるスーパーフォーミュラ。そのフィールドで戦うドライバーそしてスタッフが所属するチームの自慢にクローズアップするこのコーナー。第3回目に登場いただくのはUOMO SUNOCO TEAM LEMANSです。「まずピットへどうぞ」とチームコーディネーターの狐塚宜寿(こづかのりひさ)さんに促され、ピットガレージに入ると、すいぶん軽やかな雰囲気。それもそのはず、壁面には何枚ものアルミ板に代わり、布貼りのパーティションが設置されている。「これまでピット内が暗かったんです。作業中に十分な明るさを確保したいということで、今シーズン新調しました。パーティションの後方からLEDライトを当てて照らしているのですが、明るさがこれまでと全然違います(①)。中で作業するにはとてもいいと思います。これに合わせ、ドライバーのヘルメットを置くスペースも新たに設計しました(②)。全体的にはシンプルなデザインですが、いい感じでしょう?」とレースウィーク中の

新たな「本丸」を披露していただいた。

さらに、チームは今年からマシンカラーリングを一新。チーム名にもある「UOMO」が集英社の男性ファッション情報誌であることから、ファッション界のトレンドカラーと柄を車体へと反映させたのだとか。「男性のファッションでもピンクを採り入れるのが今年のトレンドのようです。7号車には全面的にピンクを施しました(③)。ピエトロ(・フィッティパルディ)はかなり気に入ってますよ。日本人と違って色に対する感覚も違うんですが、似合ってますよね。8号車の方はSUNOCOさんのイメージカラーの紺をベースにピンクのドット柄をデザインしました(④)。紺とピンクの組み合わせって難しいけど珍しいし、どこを走っていても目立つのでわかりやすい。ファンの皆さんにもっとアピールできると嬉しいです。チームが、かつて全日本F3000選手権にピンクの「伊太利屋カラー」で参戦していたことを知るファンにとっては、どこか懐かしさを感じるかもしれない。



去年から「チームとして復活を目指し、いろいろと取り組んできた」という狐塚氏。チームのテク入れを固め、戦力増強を目指している。「今年だけでなく、来年再来年を見据えて人を入れました。スーパーフォーミュラは来年から新車が投入されるし、またイチからのスタートになるので技術力の底上げがしたかったです。モノだけでなく人もパワーアップしているのが、チームの自慢ですね。」



## TV放映/映像配信

### BSフジ 決勝戦生中継 『2018スーパーフォーミュラ第3戦SUGO』

ピエール北川による場内実況がサーキットの臨場感をそのまま伝え、ピットの緊迫した状況をレーシングドライバー 松田次生と、東(ひがし)美樹がピットからレポートします。今シーズンは、解説者に鈴木亜久里、古賀敬介(モータージャーナリスト)を大会ごとに迎えて、鋭くまたわかりやすく解説をします。  
○放送時間: 5月27日(日) 午後2時00分~3時55分

### BSフジ 『スーパーフォーミュラ GO ON!』

今シーズンから、「スーパーフォーミュラ」の情報を完全網羅する番組としてリニューアル。SF14ラストイヤー、全戦2スベックタイヤ制など話題が豊富な2018シーズン。そのレースダイジェストをレギュラーコメンテーターの小林可夢偉と解説の松田次生が徹底分析。また、ゲストコメンテーターとして登場する現役ドライバーやチーム関係者、レース好きの著名人などと共にホットなニュースを深堀りする。番組の進行役は本田朋子アナ。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。  
○放送時間: 第3回 5月26日(土) 午後11時00分~11時55分(再放送)

## J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。  
○放送時間: 5月26日(土) 午後1時10分~予選生中継 5月27日(日) 午後1時45分~決勝生中継

## GYAO!

大会終了14日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。  
<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

## TIME SCHEDULE タイムスケジュール

RACE レース
<b>5月26日(土)</b>
8:15- 8:45 N-ONE 専有走行
<b>9:00-10:00 SUPER FORMULA フリー走行</b>
10:20-10:50 F3 公式予選
11:05-11:20 S-FJ 公式予選
11:35-12:05 N-ONE 専有走行
12:15-13:05 ピットウォーク
<b>13:20-13:40 SUPER FORMULA 公式予選(Q1)</b>
<b>13:50-13:57 SUPER FORMULA 公式予選(Q2)</b>
<b>14:07-14:14 SUPER FORMULA 公式予選(Q3)</b>
15:00- F3 第3戦 決勝 [18Laps]
16:15- S-FJ 決勝 [12Laps]
16:55-17:25 キッズピットウォーク

### 5月27日(日)

8:25- 8:45 N-ONE 予選
<b>9:00- 9:30 SUPER FORMULA フリー走行</b>
10:10- F3 第4戦決勝 [25Laps]
11:20-12:10 ピットウォーク
12:35- N-ONE 決勝 [8Laps]
<b>14:15- SUPER FORMULA 決勝 [68Laps]</b>

### EVENT イベント

5月26日(土)
8:00- 8:20 オープニングステージ MC:水村リア、今井優杏
8:35- 8:45 SUGO RACE QUEENステージ MC:水村リア
10:00-10:20 くま吉 ハイ&ローゲーム MC:今井優杏
10:50-11:10 トヨタドライバートークショー ゲスト:トム・ディルマン選手、平川亮選手 MC:今井優杏
11:15-11:30 予選直前トーク ゲスト:松田次生、東美樹 MC:水村リア
11:35-11:50 SFビギナーズトーク ゲスト:YOKOHAMA promotional models 近藤みき、嶋村なな MC:水村リア
11:55-12:15 トヨタ若手監督トークショー ゲスト:立川祐監督、片岡龍也監督 MC:今井優杏
14:40-15:00 トヨタ トリビアクイズ MC:今井優杏
15:50-16:20 レースクイーンステージ MC:水村リア
16:25-16:45 SFドライバートーク ゲスト:ニック・キャンディ選手、松下信治選手 MC:水村リア
16:50-17:10 テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美、スペシャルゲスト

### 5月27日(日)

7:45- 8:05 オープニングステージ MC:水村リア、今井優杏
8:10- 8:25 SUGO RACE QUEENステージ MC:水村リア
8:30- 9:00 レースクイーンステージ MC:水村リア
9:30- 9:50 くま吉 ハイ&ローゲーム MC:今井優杏
9:55-10:10 決勝直前トーク ゲスト:松田次生、東美樹 MC:水村リア
10:20-10:40 トヨタドライバートークショー ゲスト:石浦宏明選手、関口雄飛選手 MC:今井優杏
11:00-11:15 SFポールポジションドライバートーク ゲスト:ポールポジション獲得ドライバー MC:水村リア
12:25-12:45 トヨタ監督トークショー ゲスト:館信秀監督、星野一義監督 MC:今井優杏
12:40-12:45 SFビギナーズトーク ゲスト:浅見理美 MC:水村リア
13:00-13:20 トヨタ トリビアクイズ MC:今井優杏
16:00-16:25 テクノロジーラボラトリー ゲスト:優勝選手エンジニア 両角岳彦、浅見理美
16:45-17:00 SF優勝ドライバートーク ゲスト:優勝ドライバー MC:ピエール北川、松田次生

※スケジュール、内容、出演者等は予告なく変更、中止になる場合があります。